

Press Release

セキュリティフライデー株式会社
tel 0466-26-5666 / fax 0466-26-1130

2005年4月15日 発表

Active Directory^(R)対応、情報漏洩対策
大規模ファイルサーバのアクセスログを収集・統合する

「VISUACTTM-G システム」を販売開始

セキュリティフライデー株式会社(藤沢市藤沢89-1 社長:佐内大司)は、多くの企業で導入が進んでいるActive Directory^(R)環境にある大規模ファイルサーバ(NASサーバなど)へのアクセスログを収集・統合する「VISUACT-G システム」を2005年4月15日より販売開始いたします。

企業内のネットワーク環境では、ハイエンドNASによるサーバ集中化やギガビットネットワーク化、Active Directory^(R)の導入が進んでいます。また、本年4月1日の個人情報保護法の完全施行への対応や情報漏洩対策として、社内にあるファイルサーバへのアクセスログの収集も必須とされています。

このような企業内の新しいネットワーク環境におけるログ収集では、新たな問題が顕著になってきています。

- サーバでログを収集することが難しい
 - サーバの持つログ機能では、必要な情報が収集できない
 - ログ容量が大き過ぎる。また、収集したログが大き過ぎて他へ転送できない
 - ログ収集がサーバへ与える負荷が高い
 - Windows^(R)やLinuxなどの多様なファイルサーバを利用している

- ドメインコントローラとファイルサーバの双方を監視する必要性
 - 認証ログの収集には、ドメインコントローラへのアクセス監視が必須
 - ドメインコントローラに対して行われた悪意のある人間の攻撃は、ファイルサーバのログでは発見しにくい
 - 認証ログとファイルアクセスログの統合が必要

- ネットワーク全記録方式は不可能
 - ネットワークパケット全記録方式のログシステムは、ギガビットネットワークでの連続運用には耐えられない



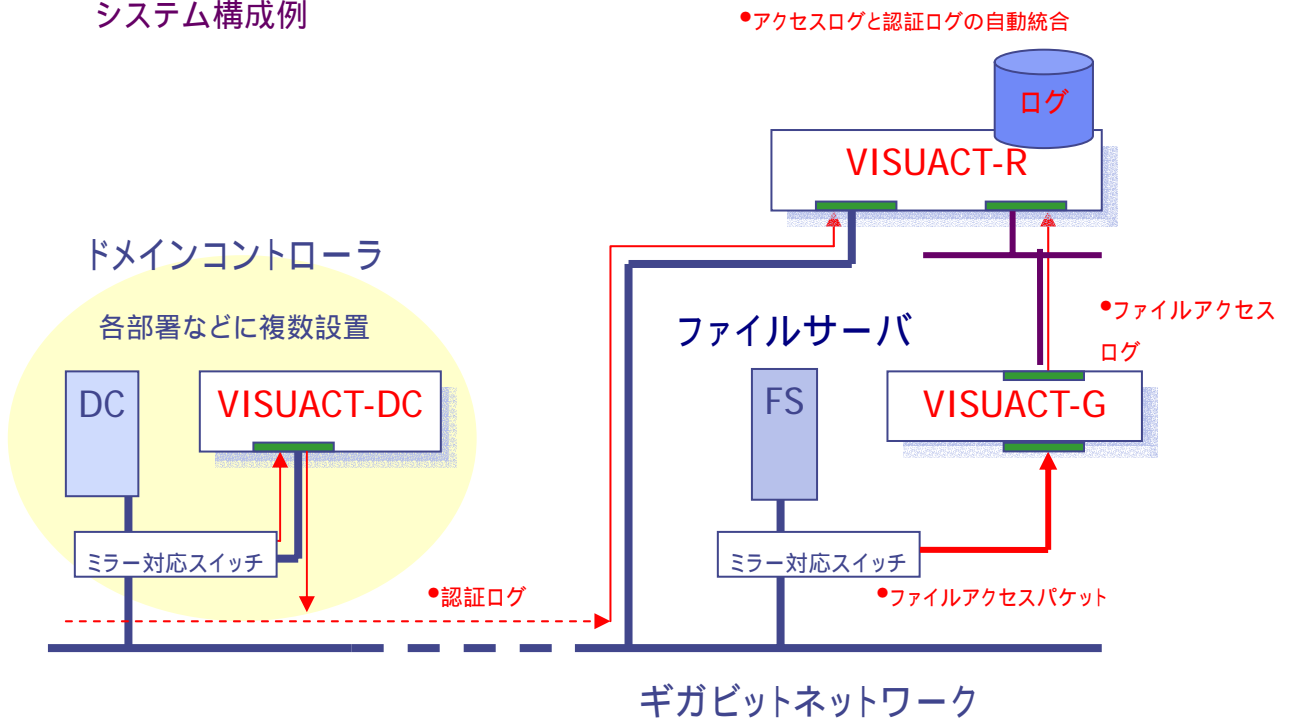
これらの問題点を解決したのが、「VISUACT-G システム」です。

「VISUACT-G システム」は、昨年6月に発売しました Windows(R)のファイルサーバへのアクセスパケットをログにする「VISUACT-G」、新たに開発したドメインコントローラへのアクセスログを取得する「VISUACT-DC」、および複数のファイルアクセスログ、認証ログを自動統合する「VISUACT-R」の3つのソフトウェアにより構成されています。

VISUACT-G システムの構成

- VISUACT-G
 - ファイルサーバへのアクセスパケットから、アクセスログを収集し、VISUACT-R に送信
- VISUACT-DC
 - ドメインコントローラへの認証パケットから、認証ログを収集し、VISUACT-R に送信
- VISUACT-R
 - VISUACT-G および VISUACT-DC から送信されてくるログデータを統合し、完全なアクセスログを生成

システム構成例



VISUACT-G システムの特長

- ネットワークパケット監視型
 - 既存サーバやクライアントへのソフトウェアのインストールが不要
- 実用的なログサイズ
 - パケット比で約1 / 1000のログサイズ
- ギガビットネットワーク対応
 - ギガビットネットワークをキャプチャしログ収集が可能
- 多様なファイルサーバに対応
 - Windows (R)ファイルサーバを始め、SMB/CIFS を利用したすべてのファイルサーバのアクセスログを収集可能。
- Active Directory(R)対応
 - 複数のファイルサーバへのアクセスログ、およびドメインコントローラへの認証ログを収集し、自動統合。
- 上位システムでの集中管理に対応
 - 上位システムへのI / Fとして統合後のログを SYSLOG 送信。

仕様・価格

推奨動作環境

	VISUACT-G	VISUACT-DC	VISUACT-R
動作 OS	XP/Server 2003	XP/Server 2003	2000 Server / Server 2003
CPU	Pentium4 3G ~	Pentium4 3G ~	Pentium4 3G ~ (Hyper-Threading or Dual CPU)
メモリ	1GB 以上	512MB 以上	1GB 以上
HDD	30MB 以上	30MB 以上	30MB 以上 (SCSI Ultra320)
NIC	Intel 製 Server Adapter	Intel 製 Server Adapter	Intel 製 Server Adapter
パケットキャプチャ ドライバ	WinPcap 3.0	WinPcap 3.0	不要
標準価格	250 万 ~ 700 万円	19.8 万円	100 万円



販売方法

官公庁、一般企業を対象に、一般流通、システムインテグレータやセキュリティベンダ経由の
パッケージ販売、および OEM 販売

販売開始	2005年4月15日
販売目標	初年度 30セット / 1億円

問い合わせ先

VISUACT-G システムに関するお問い合わせは、
セキュリティフライデー株式会社 (0466-26-5666, sales@securityfriday.com) 佐内 / 中岡まで

